

放送日 令和4年3月1日(火)  
担当者 教育総務課 熊倉 聖悟

おはようございます。教育部教育総務課の熊倉です。

私は社会人経験を経て入庁し、1年5ヶ月が経過しました。本日は私が担当している業務の1つについてご説明いたします。私は昨年4月から学校のICT環境整備・維持に関する実務を担当しております。ICTとは Information and Communication Technology の略称で、「情報通信技術」のことを差します。私は主に児童生徒や教職員が学校で使用するパソコン等のICT機器やネットワーク環境に不具合が生じた際の一時対応を行っております。今やICT機器は鉛筆やノート等の文房具と同様に教育現場において不可欠な道具の1つとなっており、不具合が生じた際は最優先に対応し、納品や環境構築を行っている業者に問合せの上、現地対応や修繕を依頼します。ICTの業務に当たっては、学校から様々な要望や不具合等、日常の問合せが寄せられますが、私は日々、問い合わせには即日回答するよう心掛けております。レスポンスを迅速に行い、本市の整備の考え方に即したものであるか、課内で相談の上回答し、困っている不安な気持ちをいち早く解消することに重点を置いています。事前に予測することが難しい業務ですが、私自身、不具合が解消した際は達成感があり、やりがいを感じます。日々の対応の積み重ねは「こどもの笑顔」に繋がるということ意識して、丁寧で迅速な対応を心掛けております。

また、教育総務課では課長をはじめ職員全員が助け合う気持ちを持っています。これは私が入庁した際に特に驚いたことでもあります。「何かお手伝いすることはありますか?」「みんなで分担してやりましょう」といった声が自然と聞こえてきます。職場環境は仕事に取り組む姿勢に直結するものです。私も職場の皆さんへ感謝の気持ちを忘れず、今後も意欲的に業務に取り組んでまいります。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

**放送日** 令和4年3月2日（水）  
**担当者** 消防課 中野 哲嗣

おはようございます。消防署消防課の中野哲嗣です。

本日は、私のライフワークでもある魚釣りと、現在の消防業務の関連性についてお話ししたいと思います。

魚釣りは、待つのが退屈であるとか、せっかちな人には向いていないといわれることがあります。少し違います。特に私が普段からよく行うルアーフィッシングでは、常に状況の変化に対応しながら、目に見えない水中を竿先に伝わる感覚から読むことで釣果につながるがよくあります。

この、「変化に対応すること」「目に見えない状況を読むこと」ということは、現在携わっている消防業務においても非常に重要であると考えます。災害現場では状況が刻々と変化していきます。そういった現場で後手を踏んでいると取り返しのつかないことになってしまう危険性もはらんでいます。小さな変化を見逃さないこと、状況変化に対して的確な対応をとることが人命救助や災害の早期収束、安全確保につながります。

また、夜間帯の出動時や火災の煙で周囲が見えない状況下で活動しなければいけないこともあります。そのような状況下でも、五感を研ぎ澄ますこと、状況を先読みすることで対応できるようになっていきます。まだまだ2年目で未熟な私ですが、普段の業務や訓練から常に意識して、経験を積み、現場活動に生かせるようにしていきたいです。

北広島市のきたる災害に備え、最小限の被害で止められるよう、きたる大物を手にし、ビックドリームを叶えられるよう、これらのことを大切にしながら今後も勤務していきます。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

**放送日** 令和4年3月3日(木)  
**担当者** 消防本部総務課 清水谷 朋果

おはようございます。消防本部総務課の清水谷です。

私は、現在の部署に異動して2か月半ほどですが、大変貴重な経験をさせていただいていると日々感じています。以前私がいた消防課という部署は、「消防士」と聞いて多くの方がイメージする火災・救急・救助等の出動や訓練を主に行っていました。現在は一変し、主に経理や物品管理、職員の休暇の申請に関する業務を行っています。

入庁して間もなく3年目の年度に入るところですが、恥ずかしながら、異動するまでは消防のお金の動きや庁舎管理についてほとんど知りませんでした。

ところで、新任消防職員は、北海道消防学校に入校し、消防士としての基礎を学習します。その中でも、必ず学ぶ言葉として「消防力の三要素」というものがあります。三要素とは、「人員」「水」「機械」を指し、全てが揃わなければ最善の活動ができないことを表します。資機材の取り扱いや放水等の訓練を積み重ね、人員のレベルアップを行い活動の質を上げることだけを指す言葉ではなく、人員が少ない中での出動体制の確保、水利や車両の管理など表に出ない部分も非常に重要となります。

現在もなお救急体制や人員確保の面で問題となっている新型コロナウイルス感染症に打ち勝つため、また令和5年のボールパーク開業に向けた体制を整えるため、最大の課題は「消防力の強化」であると言われていています。私のような一職員にできることは決して多くはないですが、市民の方々の安心・安全のため、できることを精一杯行っていきたいです。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

**放送日** 令和4年3月4日（金）  
**担当者** 救急課 相澤 翔

おはようございます。消防署救急課の相澤翔です。

3月に入り、暖かくもなりまもなく春を迎えようとしております。3月といえば、ちょうど1年後の今の時期ボールパークが開業される予定です。ボールパーク開業に向けて携わっている職員、関係者の皆様いつもおつかれさまです。私の所属している救急課ではそれに向けて、複数の傷病者が発生するような災害の対策や、ボールパーク内で発災した救急事案を円滑に対応できるように、日々模索し、マニュアル等を確立させている状況です。さらに救急隊を1隊増設する予定もあり、ますます救急体制の強化に向かっております。

さて、私は今年度で入庁して2年目を終えそうなところですが、まだまだ経験や知識不足な現状です。私自身、1月の末から処置拡大認定救命士といういわゆる災害現場で点滴などを行うことができる資格がもらうことができ、救急隊員としてさらにできることが増えました。それも含め、救急要請があった場合は傷病者に不利益のないようにするため、自分の最善を尽くせるよう日頃から訓練や勉強に励んでいます。

また、私は公務員として一社会人として、市民や町に恥の無いよう自覚と責任を念頭に日常を過ごしておりますが、危機管理が疎かになってしまう時もあります。そういったことを極力無くすようストレスを発散したり、睡眠不足にならないようにしたりと絶対に不祥事の起こらないよう努めることが大切だと働き始めてから強く思っています。世間の不祥事等のニュースも他人事とは思わず反面教師として、3年目以降も北広島市の職員として、責務を全うし、日々を過ごしてまいる所存です。

なお、新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

**放送日** 令和4年3月7日（月）  
**担当者** 消防署 岡 賢吾

おはようございます。消防署救急課の岡です。

令和2年4月に入庁し、去年4月に救急課に配属されました。普段は出動の他に救命講習、調査関連及び他市消防署とのやり取り等様々な業務を行っています。今回は救急隊として活動する上で心掛けていることとお話しします。私は安全かつ円滑で傷病者にとって最善な活動を行うために、訓練がとても大切だと思っています。主に訓練では様々な災害現場や傷病者の症状を想定したシミュレーションを行い、その後先輩の体験談や過去の報告書等を参考に注意点や動きの流れを確認し、出動時に慌てること無く活動できるよう普段から準備しています。また訓練以外にも様々な研修を受けますが、私は先月市外医療機関で1カ月間就業前研修を受け、ドクターに生体の特徴や注意点をご教授して頂きながら気道確保方法と言う管を気管内に挿入する処置や血管に針を刺し薬剤を投与する研修を行い、手技向上に努めて参りました。

現場では更に、救急の知識及び現場に応じて臨機応変に動ける対応力が求められます。救急の知識においては入庁前に3年間専門学校に通い基礎となるものを身に付けて参りましたが、現在は実際に現場で見た症状や生命兆候を今までの知識と擦り合せ更に磨きをかけています。対応力については、毎出動時で現場状況が異なるので、今後様々な現場経験を積むことで徐々に身に付けていきたいと考えています。

今後は研修を終えるごとに現場で行える処置の幅が広がり、活動時に考えなくてはいけないことが増えていきます、なので今まで以上に知識及び手技の向上に努め最善の活動を行えるよう精進しようと思います。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

**放送日** 令和4年3月8日（火）  
**担当者** すずらん保育園 伊藤 優里菜

おはようございます。子育て支援部すずらん保育園の伊藤優里菜です。今日は保育園の子ども達の様子と、保育の中で大切にしていることを話したいと思います。

北広島市は、とても自然が豊かな街だと感じています。戸外散歩では春は桜、秋は紅葉など四季折々の自然を感じながら子ども達と一緒に活動しています。今は天気の良い日には、近くの公園で雪だるまを作ったり、雪玉を投げ合ったり雪遊びを楽しんでいます。片道 20 分ほどかかる緑葉公園に向かい、米袋そりを楽しんでもいます。緑葉公園は大きな坂があり、体力を使うのですが、滑っては登りを繰り返して、夢中になってスピードを楽しんでいます。自然豊かな環境の中で保育することができ、嬉しく思っています。

保育の中で大切にしていることは、『子どもを認めること』です。子どもは誰かに見てほしいという気持ちがあります。保育中にも「先生！見て」とたくさん声を掛けられます。ある時には「縄跳びするから見てて！」と言われ、「すごい！30回跳べたね！」などとやり取りすると、どんどん練習し、跳べる回数も増えてくるのです。

日々子どもは成長していて、できることが増えたり、新しいことに気づけたりしています。その変化を見逃さず認めることが大切だと感じています。子ども達と関わる中で、できない所を見てしまうことがあるのですが、認められることで更なる意欲に繋がることを心に留め、これからも、『子どもを認めること』を大切に保育士として働きたいと思います。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。

**放送日** 令和4年3月9日(水)  
**担当者** すみれ保育園 佐野 えみ

おはようございます。子育て支援部すみれ保育園の佐野えみです。

北広島市に入庁し、2年が経とうとしています。現在は昨年からの持ち上がりで、年長の特別支援児を担当しています。担当児はもちろんですが、クラスの子ども達もにぎやかで素直で、本当に可愛いです。

しかし、まだまだ自分の能力や経験不足を感じる場面が多く、中々上手くいかず模索する日々です。そんな時に思い出すことがあります。学生時代、実習先の保育士の方がおしゃっていた、「正直保育士は大変なことも多い。けれど、1日の中で必ず笑みがこぼれる場面がある。なかなかそんな職業ないと思うよ。」という言葉です。私はその時、なんて素敵で職業なのだろうと感じました。保育士として5年目となった今、その通りだと感じます。どの職業でも忙しく、大変なことが多いと思いますが、私の原動力には子ども笑顔があります。職場の尊敬できる先輩保育士の方々にかこまれ、学ばせていただく事の多い日々ですが、自分なりに精一杯向き合い努力した分、子ども達は「楽しい」「先生大好き」と応えてくれます。子ども達と全力で遊び、笑い合い、楽しかったねと話すと、保育士になって良かったなと思います。この心が通じ合う瞬間を大切にしていきたいです。

これまで子ども達と楽しいだけでなく、嬉しい・悔しい等様々な場面を経験する中で、子どもの心の声に耳を傾け、受け止めようとする姿勢の大切さを学ぶことができました。今後も子どもの思いに寄り添い、先輩保育士からも学びながら、広い視野で成長の手助けができるよう、努めていきたいです。

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、引き続き、「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「黙食」、「3つの密を避ける」などの基本的な感染防止行動を徹底し、再拡大防止に努めましょう。